



新学期が始まります！



大切な子ども達が交通事故に遭わない為に親子で気をつけましょう！



保護者のみなさん

～子どもに教える交通安全のポイント～

子どもと一緒に通学路点検

子どもと一緒に、通学路や自宅付近を歩き、**子どもの目線で危険箇所を確認**しましょう。実際の場面で立ち止まる位置や、安全確認の方法を具体的に教えましょう。



道路の横断の仕方

交差点や横断歩道を渡るときは、**すぐに渡らない**。【止まる・見る・待つ】ことを教えましょう。前の人が歩き出してもすぐに続かず、自分の目で安全確認してから動くように教えましょう。



具体的に繰り返し教える

子どもは、「危ない」「注意下さい」など曖昧な言葉だけでは理解できません。子どもの理解力にあわせて、具体的な言葉で繰り返し教えてあげましょう。



大人は子どものお手本

子どもは、大人のすることを見えています。身近にいる大人がルールを守り、安全な行動のお手本を示すことが大切です。



～子どもの視野～



～子どもの特性～



ポイント

<見ていない>ではなく
【見えていない!】



・**子どもの目線で確認して教えましょう。**
・**頭を動かして、周りを見るように声かけを!!**

【駐車場での注意】

- 駐車場内での、子どもの事故が増加しています。
- 子ども達とはしっかりと手を繋ぎ、1人にしないようにしましょう。
- 子どもは、車の死角に隠れます。発進する時はしっかりと周囲を確認しましょう。

【車に乗る時の注意】

- 6歳以上のお子さんでも体形にあわせたシートベルト等の着用を必ずしましょう。
- 後部座席も、シートベルト等の着用をしましょう。

熊野地区交通安全協会